

■認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸「見えにくい社会課題を解決するためのコミュニティ創出と組織基盤強化支援事業」【第1期】申請団体一覧

団体名	所在地	事業名	事業概要
特定非営利活動法人Oneself	兵庫	外国人を「地域の担い手」に変える伴走型企業支援体制の構築と組織基盤強化	<p>特定技能外国人の増加に伴い、地域住民や企業内での「文化・習慣の相違」による摩擦が顕在化している。ゴミ出しや交通ルールの誤解、職場での些細なコミュニケーションのズレといった「見えにくい社会課題」が、外国人の孤立や早期離職の主因となっている。当団体はこれまで48名規模の大型シェアハウス運営を通じ、15カ国173名の生活支援を24時間体制で行ってきた現場知見を持つが、この「支援の質」が特定スタッフの経験値に依存しており、組織的な営業・支援体制が未確立であることが課題である。</p> <p>本事業では、属人化した高度な地域調整ノウハウを「共生コーディネーター・マニュアル」として体系化し、組織基盤を抜本的に強化する。当団体には、行政に制度設計から提案し受託した「兵庫区外国人リーダー制度」や、兵庫警察署と連携した「交通安全マップ作成」、環境局と連携した「留学生によるごみ分別啓発看板作成」等、行政・地域・当事者を繋ぐ実績がある。</p> <p>これらを営業・支援の「型」としてマニュアル化することで、スタッフが企業の悩みを深くヒアリングし、外国人材を単なる「労働力」から「地域の担い手」へと変える具体的な解決策を提案できる体制を構築する。</p> <p>伴走支援を通じて、客観的な視点から当団体の強みを言語化し、スタッフの「聴く力」を養うことで、営業未経験者でも高品質な提案が可能となる組織を目指す。これにより、登録支援機関としての新規契約を獲得し、兵庫区で成功している「官民連携による多文化共生コミュニティ」を企業の現場へも実装する。</p> <p>最終的には、企業・外国人・地域住民の三者が「顔の見える関係」で繋がり、外国人が地域から歓迎され、誇りを持って定着する「兵庫区発の共生モデル」の確立を目指す。</p>
NPO法人コミュニティかりば	兵庫	地域の交流の場づくりと「かりばプラザ集会所」コミセン運営基盤の確立 ～町丁目毎に地域の居場所を！外国若年労働者との交流の場を！子ども自身が行動する居場所を！～	<p>当NPOは、組織の基盤/運営の課題として、①会員&amp;スタッフの共通目標の形成②事業運営のための人材と財源の確保、③関連企業や店舗や各種団体との協働や協賛の強化、④情報発信力の強化が挙げられる。</p> <p>活動支援を受けこれらの課題を克服しながら、①町丁目毎の地域の居場所づくり、②近隣工業団地に勤め当地に暮らす外国人若年労働者との交流の場づくり、③子ども自身が自主的に考え行動する居場所づくりという3つの新たなコミュニティを創出したい。</p> <p>さらに、当地域の中心的集会所となる「かりばプラザ集会所」で公民館的・コミュニティセンター的運営をする体制を整え、中間支援や地域プロデュースも可能にし、かりばプラザ集会所や広場で様々な交流の場を創出し、さらに地域の団地集会所(18か所)で地域の居場所が創出・運営され、このような地域交流の場が時代に合わせ持続的に発展できることを目指す。</p>
特定非営利活動法人つどう場こうべ	兵庫	外国人市民の生涯学習を通じた孤立防止と、公益信託受託を見据えた組織基盤強化事業	<p>本事業は、外国からの移住者等の孤立を防ぐ「生涯学習としての日本語教育」を軸としたコミュニティ活動を、代表個人の専門性に依存した体制から「組織的な運営」への進化させ、持続可能な基盤を構築する取組である。</p> <p>具体的には、以下の3点に重点を置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 哲学の言語化と共有:「権利の回復」「アンラーニング」といった教育哲学を明文化し、スタッフやボランティアが共通の指針で活動できる研修プログラムを構築する。</li> <li>2. ガバナンスと管理体制の高度化:2026年度の公益信託法改正を見据え、市民の財産(信託)を預かるに足る透明性の高い経理・意思決定システムを整備する。</li> <li>3. 「自覚的な市民」によるコミュニティ創出:教室を「教える場」から「社会を変える現場」へと再定義し、学習者たちが主体性を取り戻すための多文化共生拠点としての「らぼ」を強化する。</li> </ol> <p>本支援を通じて、特定の個人に頼らない「地域社会の共有財産としてのNPO」を確立し、将来的な休眠預金の活用な公益信託受託も視野に入れた、自律的な担い手への成長を目指す。</p>